

【News Release】

報道関係者各位

2020 年 1 月 30 日

沖縄都市モノール株式会社
合同会社やんばる急行バス
株式会社琉球銀行

ゆいレール、やんばる急行バス 連携乗車券を電子チケットで実現 ～ 沖縄県で実施している MaaS 実証実験期間で販売予定 ～

沖縄都市モノール株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：美里 義雅。以下、ゆいレール）、合同会社やんばる急行バス（本社：沖縄県今帰仁村、代表社員：宮城 勇。以下、やんばる急行バス）、株式会社琉球銀行（本店：沖縄県那覇市、代表取締役頭取 川上 康）は、沖縄都市モノール（ゆいレール）、やんばる急行バスの連携した新たな乗車券をスマートフォンによる電子チケットで実現し、2月3日から販売開始しますので、お知らせいたします。



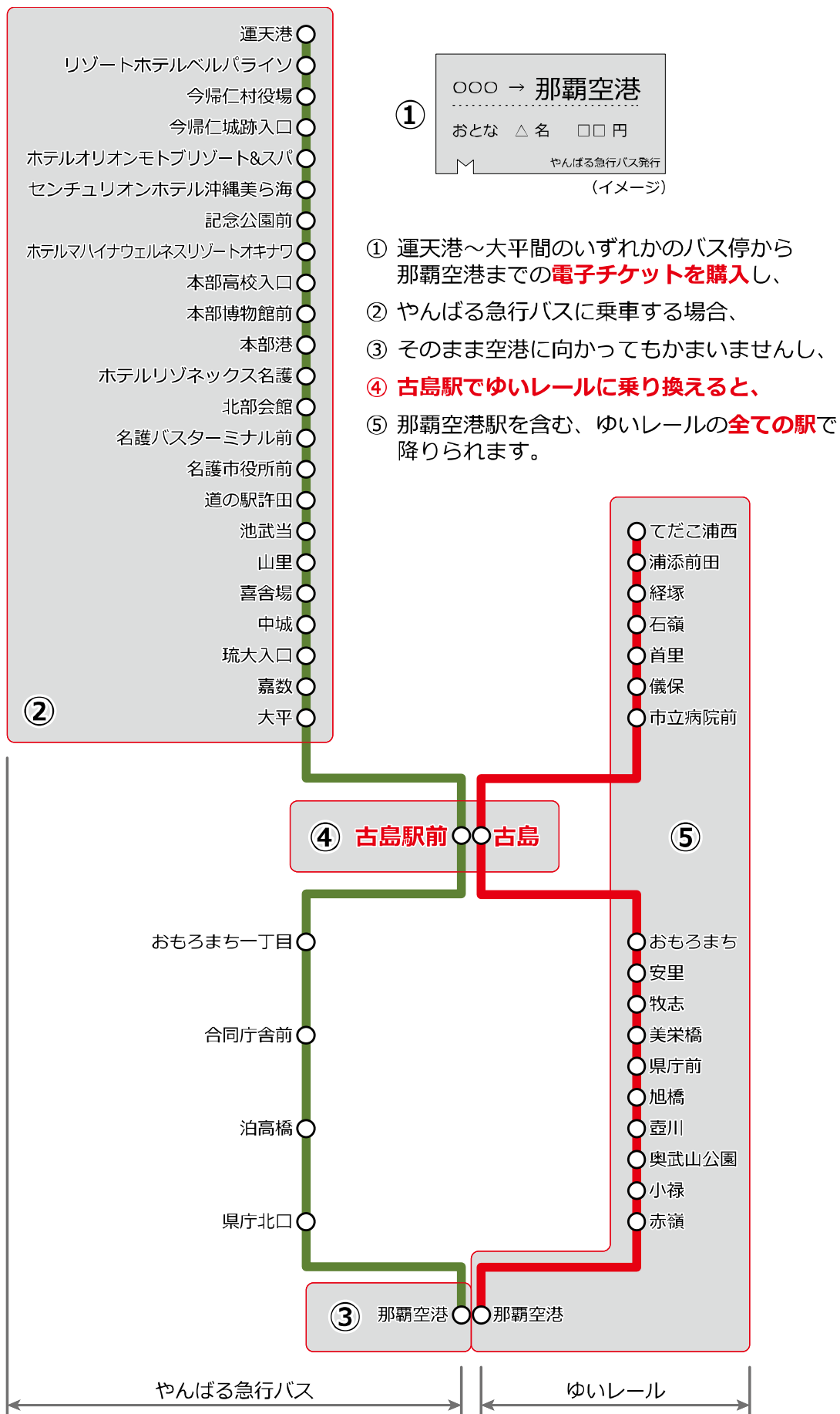
この電子チケットについては、以下の条件を満たした場合、追加の運賃は不要でやんばる急行バスの「古島駅前」のバス停で降車し、ゆいレールの「古島駅」でモノレールに乗り換えることが可能となり、那覇市中心部の道路渋滞を避け、バスで移動するよりも早く那覇空港等に到着することが可能となります。

（モノレールに乗り換えが可能となる条件）

- ① 上り路線の電子チケット（運天港から那覇空港方面）
- ② 乗車停留所：古島駅よりも運天港側の停留所（美ら海水族館、本部港など）
- ③ 降車停留所：那覇空港国内線もしくは那覇空港国際線

またこの電子チケットについては、八重山諸島の離島船舶、バス、タクシーなど11の交通事業者を利用できる電子チケットを対象として2019年11月26日にサービススタートしている八重山 MaaS（サービス名：Co. RAL）で販売します。

【実現する電子チケットのイメージ】



【取り組みの背景(概要)】

モノレールは、陸上の交通渋滞に左右されることのない「定時運行」が選択される理由のひとつです。その中で、やんばる急行バスの市内道路混雑時の遅延事情について、双方で協力体制を確立することで、時間にゆとりのないお客様に対して、乗り換え乗車を案内できる手段を整えました。

速達性を守りながら、お客様にストレスなく満足して頂くとともに、その評価が周囲を巻き込んで今後の双方の利用者増に繋げていく効果があると考えます。

【取り組みの背景(詳細)】

やんばる急行バスは、沖縄本島北部と中南部を直結する高速バスです。お客様の中には、那覇空港から飛行機をご利用される方も多くいらっしゃいます。しかし、

- ・ 那覇市内は混雑していることも多く、バスが遅延運行するリスクがある
- ・ バスが那覇市内に達した地点で、すでに遅延していることもある
- ・ 那覇市内の所要時間は、ゆいレールの方が速い

等の理由で、途中の古島駅でゆいレールに乗り換える方も多数おられます。しかしその場合、

- ・ 古島駅前～那覇空港間はバスを利用しなかったにもかかわらずバス運賃を支払った上、
- ・ 古島駅～那覇空港駅間のゆいレールのきっぷをさらに買い足す

という二重の負担を強いておりました。

そこで本電子チケットでは、古島駅前～那覇空港間について、「バスにそのまま乗車しても、ゆいレールに乗り換えても、運賃は変わらない（バスで空港まで行った場合と同額）」とし、

- ・ （もともとバスで空港に向かおうとしていた方には）バス遅延時の代替手段を確保する
- ・ （バスが遅れた場合はゆいレールに乗り換えようとしていた方には）運賃を安くする
- ・ （もともとゆいレールに乗り換えて空港に向かおうとしていた方にも）運賃を安くする

等のメリットを実現するものです。

なお、ゆいレールは那覇空港駅以外での降車も可能とすることで、やんばる急行バスが運行していない地域（那覇市小祿地区等）を目的とする方の、利便性向上も図っています。

- ・ 期間 : 2020年2月3日（月）～2020年2月29日（土）
- ・ 販売方法 : 八重山 MaaS(サービス名: Co. RAL) 上で販売
購入は、沖縄 CLIP のサイト (<http://okinawaclick.com/ja>) から「MaaS」タグを選択

<ご利用の方法>

①購入：カートに入れるまで



トップ画面から
Route→電子チケット
を選択



やんばる急行バス
を選択



出発地、目的地、
人数
を入力



内容を確認し
カートに入れる
を選択

②購入：カートから決済まで



注意事項を確認し
チェックボックス
にチェック



決済画面に進む
を選択



カード番号入力等、
決済処理を実施
(外部サイト)



決済処理完了
(外部サイト)

③利用シーン



スマートプレート
にかざす



チケット詳細
(利用前)



チケット利用処理
(1回目タップ)



チケット利用完了
(2回目タップ)

■八重山 MaaS について

八重山地域での MaaS 実現を目指し、沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社（代表取締役社長：國吉 博樹）、株式会社 JTB 沖縄（本社：沖縄県那覇市、代表取締役 兼社長執行役員：杉本 健次）、TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹）、琉球銀行、一般社団法人八重山ビジターズビューロー（本社：沖縄県石垣市、会長：石垣市長 中山 義隆）、石垣市（本庁：沖縄県石垣市、市長：中山 義隆）、竹富町（本庁：沖縄県石垣市、町長：西大舩 高句）で組成した八重山 MaaS 連携体によって運営される観光型 MaaS のサービスであり、国土交通省の「新モビリティサービス推進事業」に選定されています。

八重山 MaaS 連携体各社の構成員と役割

組織名(団体名)	本事業における役割
石垣市	石垣市の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
竹富町	竹富町の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社	MaaS 基盤(加盟店利用環境)構築、ユーザーアプリ(沖縄 CLIP)提供、パスチケット提供
株式会社 JTB 沖縄	交通・商業連携の旅行商品企画立案・提供、加盟事業者(加盟店)獲得
TIS 株式会社	MaaS 基盤構築、実証全体とりまとめ
株式会社琉球銀行	キャッシュレス決済対応、加盟事業者(加盟店)獲得
一般社団法人八重山ビジターズビューロー	八重山地域の観光施策、観光施設との連携強化の為の助言

以 上

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
沖縄都市モノレール株式会社 運輸部営業サービス課 安谷屋 TEL:098-859-2692
合同会社やんばる急行バス 本社 谷田貝 TEL:0980-56-5760
株式会社琉球銀行 ペイメント事業部 玉城 TEL:098-860-3752